

なごや市会だより

名古屋市会の議場は全国でも珍しい円形になっており、円滑な議会運営を目指し、議席を円形にしたと言われています。▶



議会の活動

令和元年(2019年)12月 第168号

9月定例会特集号

9月定例会は、9月10日から10月9日までの30日間にわたって開かれ、補正予算、条例案や平成30年度決算認定案など市長提出案件48件、議員提出議案5件についての審議などを行いました。

名古屋市会

Q 検索



名古屋市ウェブサイト(市会情報)▶

9月定例会の日程

開 会	9/10 本会議	9/13~18 本会議	9/19~26 常任委員会	9/27 本会議	9/30~10/7 常任委員会	10/9 本会議	閉 会
	市長提出案件について 市長より提案説明	個人質問 (→詳細は、2・3面)	市長提出案件について 審 査	市長提出案件などについて 議 決 ----- 決算認定案について 市長より提案説明	決算認定案について 審 査	決算認定案などについて 議 決	

「名古屋市総合計画2023の策定について」を修正可決

●「名古屋市総合計画2023の策定について」は、賛成多数により修正可決しました。

名古屋市総合計画2023は、長期的な展望に立った市政全般に係る政策及び施策の基本的な方向性を総合的かつ体系的に定める計画です。

▼修正の内容▼

相生山緑地事業の推進について、その取り組みを明確にするため、事業概要の文言を一部修正し、関連事業の記載を削除するものです。

〈修正の趣旨〉

- 原案の事業概要では、園路等の定義が明らかでなく、弥富相生山線の道路に関連する部分を含むか否かの解釈がどちらも可能であり、誤解を招く恐れがある。
- 関連事業として記載されている渋滞対策及び通過交通対策は、本来、緑地事業とは区別して記載すべき道路事業である。また、野並交差点・島田交差点の渋滞対策及び相生山緑地近隣地区の通過交通対策は、総合計画への記載の有無にかかわらず、継続事業として今後も引き続き取り組んでいく事業である。



➡「名古屋市総合計画2023の策定について」は、採決に先立ち、日本共産党から反対討論(理由:非正規労働を増やす手法をさらに進める。ささしま地下通路建設や中部国際空港第2滑走路は必要ない。名古屋城天守閣木造復元は立ち止まって市民の意見を聞くべき。公立保育園廃止計画は中止すべき。金持ち優遇の市民税減税は廃止すべき。また、総合計画の修正案については、道路事業の存廃を棚上げしたままでの緑地基本計画はあり得ない。)が行われました。

ささしまライブ24地区・名駅南地区へのアクセス改善等検討調査などの補正予算を可決

●「令和元年度名古屋市一般会計補正予算(第3号)」など3件は、いずれも全会一致または賛成多数により原案どおり可決しました。

【主な内容】

(1万円未満は四捨五入)

ささしまライブ24地区・名駅南地区へのアクセス改善等検討調査 名駅通の歩行者交通量の増加への対応及び名駅南地区のにぎわい創出に関する検討調査	1,500万円
民間障害者支援施設・民間特別養護老人ホームの非常用発電機整備等補助 民間障害者支援施設や民間特別養護老人ホームにおける非常用発電機の整備費及び安全性に問題のあるブロック塀の改修費に対する補助	1億778万円
いじめ防止対策推進法に基づく再調査 名東区の市立中学校生徒の自死事案に関して、いじめ問題再調査委員会を設置し、再調査を実施	619万円
子どもいきいき学校づくり推進審議会委員の報酬 小・中学校の学校規模の適正化に関する事項を調査審議する審議会委員(13人)の報酬	49万円



ささしまライブ24地区の上空から(平成30年1月撮影)

平成30年度決算認定案について「認定」または「可決及び認定」

●「平成30年度名古屋市一般会計歳入歳出決算の認定について」など各会計決算認定案19件については、全会一致または賛成多数により、「認定」または「原案どおり可決及び認定」しました。

一般会計の決算状況

- 歳入決算額は1兆2,048億円余、歳出決算額は1兆1,966億円余でした。
- 前年度に比べ歳入は389億円余増加し、歳出は370億円余増加しました。
- 翌年度繰越財源33億円余を差し引いた実質収支は49億円余の黒字でした。

➡「平成30年度名古屋市一般会計歳入歳出決算の認定について」は、採決に先立ち、日本共産党から反対討論(理由:市民税減税により財源不足をつくり出し、市民の暮らしや福祉を削減したこと。過大な需要予測に基づく、大型事業を推進したこと。名古屋城天守閣木造復元は、2022年完成を断念したにもかかわらず、事業の見直しをしていないこと。)が行われました。

提出案件の賛否、決算認定案の委員会審査については、4面をご覧ください。▶

議会構成の変更について

前田えみ子議員(減税日本ナゴヤ(当時))の伊勢湾台風に関する不適切な発言を発端として、以下の議会構成の変更が行われました。

●所属委員の変更

9月26日に前田えみ子議員から議会運営委員の辞任願が、前田えみ子議員及び余語さやか議員から常任委員の所属変更の申し出があり、9月27日の本会議において、下記のとおり変更となりました。

		変更前	変更後
常任委員会	経済水道委員	余語さやか	➡ 前田えみ子
	都市消防委員	前田えみ子	➡ 余語さやか
議会運営委員		前田えみ子	➡ 鈴木孝之

●会派の異動

9月27日に「減税日本ナゴヤ」から前田えみ子議員の離団届が提出され、同日、「無所属の会(1人)」が発足しました。

経緯については、4面をご覧ください。▶

個人質問から

9月13日から18日の本会議では、27人の議員が個人質問を行い、市長はじめ市当局の考えをたしました。
 主な質問・答弁の概要は次のとおりです。(発言順に記載してあります。)

本会議での質問の様子は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)からパソコンやスマートフォンなどで録画中継を視聴できます。
 ぜひご視聴ください。

▲本会議中継

.....

9月13日(金曜日)

.....

森ともお 議員(民主)
 18歳までの通院に係る子ども医療費助成の拡充

質問
 本市の子ども医療費助成は、来年1月から入院の助成対象を18歳まで拡充するが、子どもを育てるなら名古屋ということを改めて全国に知らしめるため、通院も助成対象を18歳まで拡充する考えは。

答弁
 来年1月から始まる18歳までの入院に係る助成の実績や中学生の通院状況などを踏まえ、「日本一子どもを応援するマチ ナゴヤ」を目指し、18歳までの通院に係る子ども医療費助成の早期拡充について、前向きに検討していく。(伊東副市長)

田山宏之 議員(減税)
 「表現の不自由展・その後」の騒動の収束策

質問
 あいちトリエンナーレ実行委員会の会長代行である市長は、今回の一連の騒動の責任をどのように考えているのか。また、この問題をどのくらいの時間をかけてどのように解決していくのか。

答弁
 もっと早く気付くべきだったと記者会見でも謝罪させてもらった。今回の騒動について、職務として独自でも調査するが、早く実行委員会を開いてもらって、なぜこんなことが行われたのか市民の皆さんが納得できる結論を出したい。(河村市長)

長谷川由美子 議員(公明)
 SNSを活用した子育て支援の充実

質問
 子育てに悩んでいる保護者を孤立させないため、電話をすることが苦手な若い世代でも気軽に相談できる、SNSによる子育て相談の実施を検討しては。

答弁
 本市では、電話や面談による子育て相談を実施しているが、電話相談に負担感のある保護者が気軽に相談できる環境を整えるため、SNSによる子育て相談を実施している先行自治体を参考に調査を進め、本市としての実施方法を前向きに検討していく。(子ども青少年局長)

田口一登 議員(共産)
 「表現の不自由展・その後」に対する市長の中止要請

質問
 市長が企画展の表現の内容に異議を唱えて展示の中止を求めることは、事実上の検閲では。また、自治体が主催の展示会は、政治的中立性が担保された作品しか展示してはならないというのが市長の考えか。

答弁
 公共事業では、公共性について必要最小限だとしても誰かがチェックをしており、全く検閲ではない。また、公務員は全体の奉仕者であり、行政が主催したものの場合は、より強く政治的中立性を意識しないといけない。(河村市長)

藤沢ただまさ 議員(自民)
 「表現の不自由展・その後」の今後の方針

質問
 現在中止となっている「表現の不自由展・その後」が、再開されることになった場合の本市の対応は。また、今後、政治的な問題などを含むと考えられる事業に対して、後援や共催の申し込みがあった場合の対応は。

答弁
 中止前と同じ展示は、実行委員会の構成員で公金を負担している本市として望ましいものではないと考えている。また、政治・宗教目的の内容を含むと考えられる事業に対しては、主催・共催・後援のいずれも慎重に取り扱うべきと考えている。(観光文化交流局長)



平成28年熊本地震における避難所の様子

.....

9月17日(火曜日)

.....

斉藤たかお 議員(自民)
 アニメ・サブカルロードの整備

質問
 名古屋駅西側の活性化のため、名古屋駅西口からさしまライブ24地区までの椿町線にアニメキャラクターのモニュメントなどを一定間隔で設置するアニメ・サブカルロードの計画的な整備に向けて、速やかに調査費を構える考えは。

答弁
 これは私も大賛成である。とにかく名古屋を面白くしないといけない。地元の方ともよく話をしながら、来年度にしっかりとした予算をつけて取り組みたい。(河村市長)

塚本つよし 議員(民主)
 日本語指導が必要な児童生徒への日本語指導の拡充

質問
 外国人児童生徒が増加する中、日本語能力測定における対話型アセスメント[DLA]は、対象児童生徒の日本語能力を的確に把握でき、指導の効果も上がり、総じて教育現場の負担は減ると考えるため、広く学校現場で使われるよう周知を図るべきでは。

答弁
 現在使用している本市が独自に作成した日本語習得状況表に加え、児童生徒の状況に応じて、DLAも活用しながら適切に判断し、指導に生かせるよう、各学校への周知に努めていきたい。(教育長)

余語さやか 議員(減税)
 同性パートナーに関する施策

質問
 政令市の半分で同性パートナーシップ制度が導入される中、本市では昨年度に性的少数者など性別に関わる市民意識調査を実施したが、いまだ制度の導入に至っていないことについて、市長の考えは。

答弁
 人間は生まれてきたいろいろな個性があり、たまたまそういう個性をお持ちの方をなぜ差別するのかと思う。1年経ってしまったが、しっかりやろうと総務局長に言って、パートナーシップ制度を早く進めるようにする。(河村市長)

河本ゆうこ 議員(減税)
 なごや子ども応援委員会についてのアンケートの実施

質問
 6年目に入った応援委員会の現状を把握するため、中学校において、利用したことがない理由に重点を置いたアンケートを実施し、スクールカウンセラーへのさらなるニーズを把握していくべきでは。

答弁
 全ての市立中学校に常勤のスクールカウンセラーが配置された状況を踏まえ、今後実施する予定の生徒を対象としたアンケート調査の中で、生徒たちの応援委員会への認識や利用状況なども聞き取りを行い、今後の活動の参考にしていきたい。(教育長)

さかい大輔 議員(公明)
 未来を見据えた選挙啓発事業

質問
 子どもの将来の投票につなげるため、親子で一緒に投票所に行く取り組みのPRをもっと積極的に展開しては。また、自分でよく考えて投票するという視点を取り入れた啓発事業も行っては。

答弁
 より多くの方に親子で投票所へ出かけてもらえるよう、PR方法を今一度検討し、積極的な広報に取り組んでいく。また、一つ一つの事業をさらに充実させることにより、子どもたちの将来の主体的な投票行動につなげていきたい。(選挙管理委員会委員長)

(会派の略称説明)

自 民…自由民主党名古屋市議員団
 民 主…名古屋民主市議員団
 減 税…減税日本ナゴヤ
 公 明…公明党名古屋市議員団
 共 産…日本共産党名古屋市議員団
 無 会…無所属の会

吉田茂 議員(自民)
 港区内の都市計画道路名四国道線の渋滞緩和対策

質問
 名四国道の港区内の庄内川左岸から十一屋交差点の区間は、渋滞が頻繁に起き、地域生活や物流に支障が出ている。この対策には高架化が極めて有効と考えるが、今後どのように改善していくのか。

答弁
 当該区間の渋滞解消には高架化は有効な対策であり、本市としても、その早期整備を国に要望していくとともに、都市計画など必要な手続きをはじめとして、主体的意識を持って国と連携し取り組んでいく。(住宅都市局長)

赤松てつじ 議員(民主)
 民間企業との連携を軸とした投票率向上策

質問
 投票率向上のため、民間企業に選挙期日の周知や発信などを依頼することに加え、本市も研修資料の提供や協力企業を選挙管理委員会ホームページで紹介するなど、お互いに協力し合う選挙啓発を進めては。

答弁
 民間企業への協力依頼は、さらに幅広い啓発活動が可能になり、本市も民間企業に協力していくことは、より多くの企業に協力を得る上で重要と考えている。今後は提案事項の実施に向けて検討を進め、より効果的な選挙啓発を目指していきたい。(選挙管理委員会委員長)

余語さやか 議員(減税)
 同性パートナーに関する施策

質問
 政令市の半分で同性パートナーシップ制度が導入される中、本市では昨年度に性的少数者など性別に関わる市民意識調査を実施したが、いまだ制度の導入に至っていないことについて、市長の考えは。

答弁
 人間は生まれてきたいろんな個性があり、たまたまそういう個性をお持ちの方をなぜ差別するのかと思う。1年経ってしまったが、しっかりやろうと総務局長に言って、パートナーシップ制度を早く進めるようにする。(河村市長)

吉岡正修 議員(公明)
 将来を見据えた総合的な治水対策

質問
 本市の産業を支える市南西部の豪雨浸水被害の着実な軽減のため、少しでも早く既存の治水施設を有効活用して水路をネットワーク化し、雨水を名古屋港へ連続排水することに対する考えは。

答弁
 ハード・ソフト両面の課題解決に向け、関係部局間の協議調整を積極的に行い、市南西部の早期の安全性向上とポテンシャル向上の取り組みを進めたい。名古屋の一つの大きな問題であり、必ず来年度から調査費をつけてやっていく。(河村市長、緑政土木局長)

浅野有 議員(自民)
 ICT教育の推進

質問
 本市の学校におけるICT環境整備は、かなり遅れている。超スマート社会に身を置き、ICTを基盤とした経済を支えていく本市の子どもたちが世界から取り残されることがないように、子どもたちに一人一台のタブレット導入を早期に実現するべきでは。

答弁
 人間を育てるところには惜しみなく投資しないといけない。財政面を言っている段階ではなく、できる限り起債をして、私は直ちにやらないといけないと思う。(河村市長)

.....

9月18日(水曜日)

.....

斎藤まこと 議員(民主)
 中高年のひきこもり支援

質問
 ひきこもり地域支援センターでは、訪問支援によるアウトリーチやケースワーク機能などが不足しているため、より地域に密着した支援ができるよう、民間活用し、ひきこもり支援施策を拡充しては。

答弁
 多様化するひきこもりへの支援において、共通している孤立を生まず、アウトリーチ型支援を含めた新しい支援を切れ目なく柔軟に実施するためにも、民間活力の活用も含め、ひきこもり支援施策の強化に向けて検討していく。(健康福祉局長)

沢田ひとみ 議員(減税)
 市立学校(園)における熱中症対策

質問
 学校現場における熱中症ゼロを目指すため、現状では各学校に導入の判断を任せている暑さ指数計を全校配備し、それを効果的に活用するための熱中症のガイドラインを策定するべきでは。

答弁
 熱中症は本当に危険で、警戒し過ぎるということはなく、暑さ指数計を早く導入する方向で指導していきたい。ガイドラインについても、要約版のような分かりやすいものを一刻も早くつくって、教員の負担を減らすように指導したい。(河村市長)

岩本たかひろ 議員(自民)
 公園灯のLED化

質問
 街路灯をリース方式によりLED化したように、公園灯についても、環境配慮に加え、経費削減により生み出された財源を公園の除草や清掃などに活用できるよう、少しでも早くLED化を進める考えは。

答弁
 公園灯をリース方式によりLED化した場合、電気料金などが削減され、リース料を支払っても年間数千万円の経費削減になると想定しているので、公園灯についてもリース方式によるLED化を令和2年度中には実施できるよう検討していく。(緑政土木局長)

金庭宜雄 議員(公明)
 姉妹友好都市から寄贈された屋外モニュメントの活用

質問
 ロサンゼルス市から寄贈された久屋大通公園のマンズ・シアター・プレートは、破損も汚損もないことから、安易に撤去せず、多くの市民が触れられるようしかるべき場所への再展示を検討するべきでは。

答弁
 プレートについては、撤去を前提に原寸大写真パネルの展示を計画していたが、工事の過程でモニュメントから取り外すことが可能と判明したので、再展示も含めて、その活用について住宅都市局とともに早急に検討していきたい。(観光文化交流局長)

服部しんのすけ 議員(自民)
 断夫山古墳の県市共同発掘調査

質問
 これまでに発掘調査が行われていない、熱田区にある東海地方最大規模で県所有の断夫山古墳について、歴史ロマン漂うまちづくりに生かすため、県と共同で本格的な発掘調査を行う考えは。

答弁
 調査は本市の歴史を知る上で意義深く、保存・活用を図ることで市民が歴史遺産の存在をより実感できると考えており、県市共同での発掘調査の提案があった県教育委員会と歩調を合わせ、今年度にも着手できるよう検討・協議を進めていきたい。(教育長)

浅井正仁 議員(自民)
 天守閣木造復元の進め方

質問
 2022年末の完成を断念した今、解体の許可申請は一旦取り下げて、解体と復元は一体として申請されることが望ましいという文化庁の提案を受け入れるべきでは。

答弁
 文化庁の総責任者から、石垣部会の皆さんと話をまとめてくれれば進めます。その場合は、天守を解体したままだと困るでしょうから、新しい天守の復元と一緒に申請してくださいと、そこまではっきり言われている。(河村市長)



断夫山古墳

9月定例会 提出案件の賛否

■以下の市長提出案件11件については、いずれも賛成多数により修正可決、原案どおり可決、認定または原案どおり可決及び認定しました。賛否と結果は下記の表のとおりです。

- 表の①は、次の1件です。(9月27日議決)
●名古屋市長総合計画2023の策定
- 表の②は、次の1件です。(9月27日議決)
●令和元年度名古屋市長一般会計補正予算(第3号)
- 表の③は、次の9件です。(10月9日議決)
●平成30年度名古屋市長一般会計歳入歳出決算の認定など決算認定案9件

会派	氏名(区)	議決結果		
		① 修正可決	② 可決	③ 認定または 可決及び認定
自民	伊神邦彦議員(千種区)	○	○	○
	中川貴元議員(東区)	○	○	○
	渡辺義郎議員(北区)	○	○	○
	浅野有議員(西区)	○	○	○
	斉藤たかお議員(中村区)	○	○	○
	小出昭司議員(中村区)	○	○	○
	中田ちづこ議員(中区)	○	○	○
	西川ひさし議員(昭和区)	○	○	○
	ふじた和秀議員(瑞穂区)	○	○	○
	服部しんのすけ議員(熱田区)	○	○	○
	岡本善博議員(中川区)	○	○	○
	浅井正仁議員(中川区)	○	○	○
	吉田茂議員(港区)	○	○	○
	横井利明議員(南区)	○	○	○
	藤沢ただまさ議員(南区)	○	○	○
	松井よしのり議員(守山区)	○	○	○
	北野よしはる議員(守山区)	○	○	○
	中里高之議員(緑区)	○	○	○
	岩本たかひろ議員(緑区)	○	○	○
	丹羽ひろし議員(名東区)	議長	議長	議長
民主	成田たかゆき議員(天白区)	○	○	○
	斎藤まこと議員(千種区)	○	○	○
	山田昌弘議員(千種区)	○	○	○
	服部将也議員(北区)	○	○	○
	うえぞの晋介議員(西区)	○	○	○
	うかい春美議員(中村区)	○	○	○
	塚本つよし議員(中区)	○	○	○
	おくむら文悟議員(昭和区)	○	○	○
	久田邦博議員(瑞穂区)	○	○	○
	森ともお議員(熱田区)	○	○	○
	久野美穂議員(中川区)	○	○	○
	赤松てつじ議員(中川区)	○	○	○
	加藤一登議員(港区)	○	○	○
	橋本ひろき議員(南区)	○	○	○
	小川としゆき議員(守山区)	○	○	○
	岡本やすひろ議員(緑区)	○	○	○
	日比美咲議員(名東区)	○	○	○
	田中里佳議員(天白区)	○	○	○
	手塚将之議員(千種区)	○	○	○
	佐藤ゆうこ議員(東区)	○	○	○
減税	田山宏之議員(北区)	○	○	○
	鹿島としあき議員(西区)	○	○	○
	豊田薫議員(中区)	○	○	○
	大村光子議員(昭和区)	○	○	○
	中川あつし議員(中川区)	○	○	○
	沢田ひとみ議員(港区)	○	○	○
	河本ゆうこ議員(守山区)	○	○	○
	増田成美議員(緑区)	○	○	○
	余語さやか議員(緑区)	○	○	○
	浅井康正議員(名東区)	○	○	○
公明	鈴木孝之議員(天白区)	○	○	○
	田辺雄一議員(千種区)	○	○	○
	長谷川由美子議員(北区)	○	○	○
	さわだ晃一議員(西区)	○	○	○
	中村満議員(中村区)	○	○	○
	木下優議員(中川区)	○	○	○
	吉岡正修議員(港区)	○	○	○
	さかい大輔議員(南区)	○	○	○
	金庭宜雄議員(守山区)	○	○	○
	近藤和博議員(緑区)	○	○	○
共産	小林祥子議員(名東区)	○	○	○
	三輪芳裕議員(天白区)	○	○	○
	岡田ゆき子議員(北区)	欠	欠	欠
	江上博之議員(中川区)	×	×	×
	さはいあこ議員(緑区)	×	×	×
無会派	さいとう愛子議員(名東区)	×	×	×
	田口一登議員(天白区)	×	×	×
無会派	前田えみ子議員(瑞穂区)	○	○	○

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 議長…議長のため議決に参加できない
※前田えみ子議員は、9月27日の議決後から無所属の会に所属。

■以下の42件については、いずれも全会一致により原案どおり可決(決算認定案については認定または原案どおり可決及び認定、人事案件については同意)しました。

市長提出案件(37件)

《条例案》

- 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
- 心身障害者扶養共済事業条例の一部改正
- 専用水道に係る水道技術管理者の資格を定める条例の一部改正
- 子ども・子育て支援法施行条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 子どもいきいき学校づくり推進審議会条例の制定
- 都市公園条例の一部改正
- 道路の占用料等に関する条例の一部改正
- 河川法施行条例の一部改正
- 水路等の使用に関する条例の一部改正
- 印鑑条例の一部改正
- 個人市民税の控除対象となる寄附金を受け入れる特定非営利活動法人を定める条例の一部改正
- 水道事業等の設置等に関する条例の一部改正
- 水道給水条例の一部改正
- 名古屋都市計画事業大曽根北土地区画整理事業施行条例等の一部改正
- 建築基準法施行条例の一部改正
- 市営住宅条例及び定住促進住宅条例の一部改正
- 消防団条例の一部改正
- いじめ問題再調査委員会条例の制定

《補正予算》

- 令和元年度名古屋市長一般会計補正予算(第3号)など2件

《決算認定案》

- 平成30年度名古屋市長一般会計歳入歳出決算の認定など10件

《一般案件》

- 契約の締結
- 指定管理者の指定(2件)
- 市道路線の認定及び廃止
- 公立大学法人名古屋市立大学第三期中期目標の変更

《人事案件》

- 教育委員会の委員選任(2件)



議員提出議案(5件)

《意見書》

- あおり運転等の悪質・危険な運転に対する法整備等を求める意見書
あおり運転等の悪質・危険な運転に対し、罰則強化を含めた法整備を早急に進めることなどを強く要望するものです。
- プラスチックごみの削減に向けた対策の強化を求める意見書
拡大生産者責任の強化など、プラスチックごみの削減に向けた対策の強化を図るよう強く要望するものです。
- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の拡充に関する意見書
加配定数を含めた教職員定数の計画的な改善を図ることなどを強く要望するものです。
- 高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書
安全運転を支援する装置を搭載した安全運転サポート車等の普及を一層加速させることなどを強く要望するものです。
- 太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める意見書
事業計画の認定に当たり、一定規模以上の案件については地域住民への事前説明を太陽光発電事業者が義務づけるなど、地域住民との関係構築のために必要な取り組みを行うことなどを強く要望するものです。

➡意見書の全文は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)でご覧いただけます。

平成30年度決算認定案の委員会審査

■各会計決算認定案19件について、常任委員会で審査された項目の一部をご紹介します。

総務環境委員会	○第20回アジア競技大会に関し、民間事業者からの提案内容を踏まえた名古屋競馬場跡地におけるメイン選手村の整備及び後利用についての検討状況 ○第5次一般廃棄物処理基本計画に掲げたごみの減量に関し、昨年度のごみ処理量の目標と実績
財政福祉委員会	○東部医療センター及び西部医療センターの名古屋市立大学附属病院化に係る病院局の認識及び検討状況 ○ICTなどを活用した施設再編整備の考え方及び学校施設再編整備の取り組み状況
教育子ども委員会	○文化財の保護に関し、山車行事の重要文化財指定に向けた国への働きかけ及び名古屋城天守閣解体に係る文化庁との協議・調整の状況 ○児童相談所における児童福祉司の置かれている状況及びそれに対する認識
土木交通委員会	○地域巡回系統の運行時間帯拡大による影響についての評価及びそれを踏まえたさらなる営業係数の改善に対する交通局の考え方 ○街区公園の整備事例の内容及びそれを踏まえた街区公園整備に対する考え方
経済水道委員会	○堀留水処理センターの上部空間の利用に向けた検討状況 ○名古屋城天守閣木造復元に関し、特別会計の収支の状況及び石垣調査に係る取り組み
都市消防委員会	○金城ふ頭エリアへの来訪促進に向けた取り組み ○大規模災害時における他都市からの応援職員の宿泊場所確保についての検討状況

➡委員会の議論の様子は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)から録画中継を視聴できます。

議会構成の変更の経緯について

9月定例会における、前田えみ子議員(減税日本ナゴヤ(当時))の伊勢湾台風に関する不適切な発言を発端とした議会構成の変更の経緯は、以下のとおりです。

- 9月20日の都市消防委員会において、前田えみ子議員から、伊勢湾台風に関する不適切な発言がありました。
- この発言を受け、都市消防委員会ははじめ複数の委員会において、他会派の議員から、発言の真意などがただされるとともに、本人からの謝罪の遅れ、減税日本ナゴヤの対応の遅さなどについて厳しい指摘がありました。
- また、同月27日には伊勢湾台風により甚大な被害を受けた地域の方々から、伊勢湾台風により家族を失った者の悲しみを踏みにじる発言であり、議会に対する不信を持ったとして、議長に対し抗議文が提出されました。
- これらを受けて、前田えみ子議員や減税日本ナゴヤから、所属委員の変更や会派の異動に関する申し出が行われました。
- その後、前田えみ子議員が新たに所属することとなった9月30日の経済水道委員会では、改めて本人から「皆様に不快な思いとご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫びいたします。」との発言がありました。

広報強化に向けた取り組み状況について

名古屋市会では、議会基本条例の趣旨を実現するため、市長に対し、
●議会報告会の開催
●市会だよりの例月化
●区役所等における議会広報番組の放送
●市会図書室でのインターネット中継の閲覧とDVDの貸出し
の4項目に関する予算要求を繰り返し行っています。
しかし、市長からは予算が認められていないため、残念ながら、いずれの項目も実現には至っていません。

詳しくはこちら

